

会議要録

会 議 名	第1回部活動指導業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年12月22日（木曜日）
開 催 場 所	書面開催
委 員	（出席者）岡出美則委員、高田彬成委員、吉永武史委員 中田和直委員、篠崎玲子委員 （欠席者）なし
事 務 局	澤木俊宏、増岡文也(教育支援係)、野口由博（指導主事）
会 議 次 第	1 開会 2 選考委員委嘱 3 選考委員紹介 4 委員長選出 5 副委員長選出 6 審議事項 （1）選考日程について （2）募集要項及び選考方法について （3）審査基準について 7 その他 8 次回の日程等について 9 閉会
配 付 資 料	【配付資料】 資料1 部活動指導業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 部活動指導業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 資料3 部活動指導業務委託事業候補選考に係る日程（案） 資料4 部活動指導業務委託事業候補者募集要項（案） 資料4-1 仕様書（案） 資料4-2 様式1～様式7 資料5 部活動指導業務委託事業候補者の選考方法（案） 資料6 部活動指導業務委託事業候補者の選考基準(案) 資料6-1 部活動指導業務委託第一次審査採点表（案） 資料6-2 部活動指導業務委託第二次審査採点表（案）

会議の結果及び主要な発言

1 開会

2 選考委員委嘱

3 選考委員紹介

4 委員長選出

互選により、委員長は岡出委員を選出した。

5 副委員長選出

委員長の指名により、副委員長には篠崎委員を選出した。

6 審議事項

(1) 選考日程について

質疑なし

(2) 募集要項及び選考方法について

A委員

中体連の各団体の主催する顧問会議や実技研修会や審判講習会に学校単位で参加を求められることがあります。現段階で部活動指導員がそこに参加を求められるのかは不明ですが、今後顧問の代わりとして指導・運営に携わるに当たり、参加を求められることが考えられます。あらかじめ対応をできる仕様書としてはどうでしょうか。また、大会開催にあたり運営スタッフ（審判員等）として顧問はこれまでも対応してきています。生徒の引率がなく運営スタッフとして対応することもあります。委託業者として今後大会の運営スタッフとして参加を求められたときの対応についてはどのようにするのか検討しておく必要はないでしょうか。

事務局

大会運営における業務内容を「仕様書4 業務内容（4）大会運営に対する対応」として追記します。

A委員

専門性を高める意味からも公認審判の資格を取得することも必要になると思われます。競技団体によってはチームに有資格の帯同審判を求められる競技もあるため、審判資格を取得する研修等も含まれる必要があると思います。

事務局

「仕様書4 業務内容（3）専門性を高めるための研修の充実」に資格取得のための研修を追記します。

B委員

質の高い部活動指導員の確保に向けて記されている条件については、個人的な資質、能力並びに組織としての体制の双方、インクルーシブ等の視点が記されており適切であると考えます。

他方で、部活指導員に関しては、事前の研修があるとはいえ、指導者の人数のみではなく、登録指導者の保有資格を記せるようにした方が良いようにも思います。現状、どの程度の資格保有者がおられるか、どのような資格を保有されているかは不明ですが、実態を把握するには意味があるように思います。

事務局

「企画提案書2 部活指導員の採用・育成について（4）」に在籍している部活動指導員の資格保有者数を追記します。

B委員

港区立学校部活動ガイドライン3-5に示される観点に回答する設問があ

事務局	<p>ってもいいように思います。例えば、生徒のニーズの把握を踏まえた対応ができるためにどのような取り組みを想定しているのか、といった設問です。</p> <p>「企画提案書3 事業の実施体制(3)」に生徒のニーズに合わせたコミュニケーションの図り方を追記します。また、「仕様書5 業務実施の条件(2)」に港区立学校部活動ガイドラインに基づいた部活動指導を行うことを追記します。</p>
B委員	<p>「企画提案書2(4) 部活動指導員の研修についての貴社の対応考え」は、「部活動指導員の研修についての貴社の方針、内容並びに計画」といった表現の方がこの後の項目に対応するように思います。ちなみに「貴社の対応考え」は、「対応考え」とも読めるので、表現は変更した方がいいように思います。</p>
事務局 B委員	<p>表現を変更します。</p> <p>文化部と運動部での対応についての異同について説明を求める設問があってもいいように感じました。</p>
事務局	<p>「企画提案書3 事業の実施体制」に運動部、文化部において、特に配慮する点について追記します。</p>
C委員	<p>研修体制と内容について、前・中・後と分けて問うものになっており、専門性の高まりによって段階が変わる形になっていてよいと考えます。</p>
D委員	<p>部活動における質の高い指導者に求められる資質・能力の一つとして、生徒の技能等に関する課題を理解し、的確に指導するだけでなく、生徒の思いや願いに寄り添い、励ましたり、目標に向かって共に計画を立てたりするなどの生徒指導力が求められると考えます。</p>
事務局	<p>したがって、仕様書にある(3) 専門性を高めるための研修の充実のウとして、例えば「生徒の部活動に対する思いや願いを理解し、指導者として適切に対応するための研修を定期的に行うこと」を加えてはどうかと考えます。</p>
D委員	<p>「仕様書4 業務内容(3) 専門性を高めるための研修の充実」に追記します。</p> <p>仕様書においては、概要にとどめているものの、企画書の様式では、細かい設問にそって記述するようになっていたため、指導書を網羅できていると考えます。</p>
事務局 E委員	<p>しかし、部活動の本来の目的である「生徒の自主的・自発的な活動」を支援する立場が少し薄く、どちらかといえば技能指導と危機対応・安全管理の面が重視されていると感じます。生徒の思いや願いにどう寄り添い、活動をサポートするか、外部指導者にはそんな生徒理解力が欲しいと考えます。その点に対する事業者の考えを企画書に記されることを望んでいます。</p> <p>「企画提案書3 事業の実施体制(3)」に追記します。</p> <p>企画提案書1の(3)ならびに2の(1)(2)(3)に、部活動指導員として適切な人材(必要となる資質・能力)をどのように捉えているか、また、それをチェックするための採用基準が明確に設定されているかどうか、さらには、過去の実績を踏まえ、現在の保有人数(特に、5年以上の経験を持つ)がどの程度であるかなど、質の高い部活動指導員の確実な確保を評価するための項目が設定されていること、また同時に、それらが評価可能な審査基準ならびに採点表になっていると判断しました。</p> <p>企画提案書5の(1)の②に、部活動指導員の急な欠員が出た場合の具体的な対応を記載することになっておりますので、補完体制について評価することは可能であると判断しました。また、この点については、第二次審査におきましても審査基準の項目として設定されていますので、プレゼンテーションの内容等でも再度確認できればと思います。</p>

企画提案書2の(4)に、部活動指導員の研修の体制ならびに内容について、指導期間前・中・後の研修計画・内容を具体的に記載する項目が設定されていること、また、それらが評価可能な審査基準ならびに採点表になっておりますので、第一次審査の段階で適切に評価することは可能であると判断しました。また、第二次審査におきましても、「研修体制」の観点でも評価することになっておりますので、プレゼンテーションの内容等で、部活動指導員の専門性を高めるための充実した研修体制が整備されているかについて改めて確認したいと思います。

企画提案書3の(1)において、業務委託業者と教育委員会の連携体制を、3の(5)において、業務委託業者と学校(教員)・保護者との連携体制を評価する項目が設定されておりますので、学校・保護者・教育委員会との連携体制を評価可能な内容になっていると判断しました。

緊急時(特に事故やケガ人の発生した場合)の体制が整っているのかにつきましても、業務委託業者を選定する上で極めて重要な項目となりますが、企画提案書の5の(1)の④ならびに⑤を中心に評価可能な内容になっていると判断しました。

(3) 審査基準について

A委員

区内全部活動を一括で指導・運営するにあり、特に文化部でモノづくりや国際文化等内容の分かりにくい活動について確実に人員を確保できる評価になっているか少々心配です。

事務局

仕様書別紙に部活動の記載をしているため、第二次選考の質疑応答の際に特殊な部活動への人員確保を確実にできるか確認していただきたいと考えております。

C委員

部活動指導員の採用方法や基準について問うところがあるので、業者内の選考システムがわかり、質の担保につながると考えます。

7 その他

事務局

仕様書、企画提案書の修正に合わせ、募集要綱、採点表の記載を変更します。

8 次回日程の確認

質疑なし

9 閉会